

「ほっかいどうの認知症施策」

2025年7月

リニューアル



みんなが学べる

認知症の最新情報

www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/ninchisyo/top.html

北海道 認知症

検索

一人ひとりにもっと知ってもらうため、

認知症のことを

もっと見やすく、さらに分かりやすく！

- 使いやすい構成、デザイン性の向上（ユニバーサルデザイン）
- 知りたいに応える「内容の更なる充実」
- 本人参画・本人発信の実現

認知症とともに生きる。

自分らしく、希望を持ちながら前へ進む

地域のみんなの力で支え合い、つながる社会。



「ほっかいどう希望大使（認知症本人大使）」は、認知症になっても希望を持って暮らしていけることを発信する、認知症ご本人の方々と、3名の方を任命しています（上記写真の左から、竹内 瑠璃子（たけうち るりこ）さん、横山 弥生（よこやま やよい）さん、松本 健太郎（まつもと けんたろう）さん）。認知症当事者の方々とご家族などに希望をもち、認知症の方への理解を深める役割を担っています。

〈リニューアルページのイメージ〉

（別紙5 - 3）

認知症の人が
安心して暮らせる
まち・北海道を
目指して。

認知症を知る



本人発信の
実現

認知症の原因や種類、進行、認知症の人への接し方などの **基礎知識**をまとめています。認知症とともに生きる社会づくりのため、認知症について正しく理解しましょう。

あなたの知りたいに応えます。

認知症ワンポイント講座



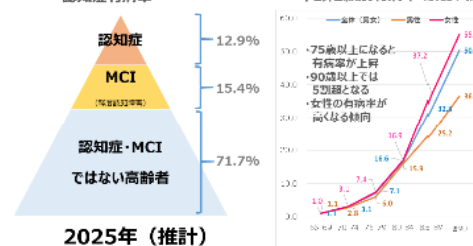
高齢化による影響

2040年には、65歳以上の高齢者数がピークを迎えるとともに、介護と医療の統合ニーズを抱える85歳以上人口が増加します。一層の高齢化の進展とともに、**認知症患者の増加や認知症高齢者の増加**も見込まれています。一方で、現役世代の生産年齢人口の減少も見込まれ、どのように高齢者を支えていくかが課題となっています。

ワンポイント
解説！

高齢者（65歳以上）の
認知症有病率

認知症の
年齢階級別有病率（2022年時点）



ビジュアルで
分かる！

相談する



受診する



道・市町村の取り組み



認知症の方を支える



介護従事者の方



医療従事者の方



項目別で
使いやすい！